

## 広報あつぎ1406号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q あなたの年代を選択してください。

10代	0人
20代	2人
30代	8人
40代	11人
50代	19人
60代	11人
70代以上	18人
	69人

# 広報あつぎ1406号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 紙面で紹介した行政情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

## 1面 日常に芸術を

- かわいい写真だから。
- 写真に惹かれました。
- 「日常に芸術を」は長生きのコツかもしれない。
- にぎやかな一面で、芸術が表現されていてすてきです。
- コロナ禍が明けて、日常が戻って来た実感したので。
- 写真の切り取り方などで、高齢者と若者が協働しているように見える。
- 輝き厚木塾から、同好の人たちと水彩画倶楽部で絵を楽しんでいます。今年も作品展を開催することになりました。
- 多方面の記事が満載だが、この表紙を見てお絵かきをしたくなった。大人向きの同様な企画があれば良いなと思う。
- 厚木市に転入して、厚木市は音楽や絵、ボランティア活動等が盛んで驚いた。私は、特にこれといった芸術はできないが、地域でカラオケやパソコン教室、男の料理倶楽部等を主催させてもらっているの、少しは地域の役に立っているかなと思っている。
- コロナ禍で自粛してコンサートに出掛けず、テレビやラジオで音楽を楽しんでいましたが、今年は生演奏のコンサートに出掛けたいと思います。「広報あつぎ」のロゴも塗り絵になっているのを見て、折り紙や手芸など、普段の生活の身近なことからも芸術を楽しみたいと思いました。数年前に開催された吹奏楽部イベントブラスジャンボリー厚木がまた開催されたら参加したいです。

## 2面 地場農産物の提供機会を増加

- 地場農産物を食べたいから。
- 地場農産物をどんどん使用してほしいと思いました。
- 市内の農産物を給食で味わう機会が増えるのはとても良い。
- 地産地消が当たり前のこととして実施されていると思ったため。
- 地産地消は良いことだと思うので、提供機会が増えるのはうれしい。
- 地産地消をすることは厚木愛を象徴するすてきなことだと思います。
- 食育として、学校給食に厚木産の米や野菜を取り入れることはすばらしいです。
- 地元の野菜を効果的に使い、厚木の農業の発展に少しでも寄与していきたいと思っています。
- 野菜を無駄なく使うことが育てた農家さんへの恩返しになると思います。様々な取組を期待しています。
- 厚木市はあまり1次産業が多いようには見えないが、そんなことはないため、給食を通じて伝えることは良いと思った。
- 厚木市民として、学校給食だけでなく厚木産のお米や野菜を地産地消する啓蒙活動を継続し、地域経済の活性化につなげたい。
- 食材の地産地消は最も大切な施策です。食育を兼ねて給食に使うのは最も良い政策だと思います。大いに進めてほしいと思います。
- 地場農産物を給食に取り入れる取組はとても良いと思った。生産者の方への感謝の気持ちや食材一つ一つの大切を感じられたら良いと思う。

- 地場農産物を給食に提供することで、厚木市の地場農産物への意識向上、地産地消による経済効果など、メリットがたくさんあると思うので、今後も拡大してほしいです。
- 給食は本当に有り難い。地場農産物を使うことで、厚木の農家さんの収入の安定にもつながれば良いと思う。また、輸送費用の削減にもなると思うので、どんどん進めてほしい。
- 農業の継続・拡大を期待しています。また、夢未市施設の市の関わり強化や施設設備・規模の拡大を期待します。現在は、新鮮さは評価しますが、とても狭く商品が少ない、価格も安いとは言い難いです。
- 地元の野菜を食べることによって、子どもたちも自分の住んでいる街の特性を知ることができると思います。子どもが幼稚園の頃、今日はどこの野菜だったと楽しく報告してくれました。売る側も食べる側お互いに利益があると思います。
- カロリーベース食料自給率が全国では38%でも、神奈川県環境科学センターから聞いたところでは、神奈川県のレベルで2%程度とのことでした。SDGsの取組を進めるうえでも、地場農産物の提供機会を学校給食に取り入れることは重要ですね。
- 給食には大変お世話になっている。兄弟の中でも、男の子が多いクラスに通う子は、あまりおかわりができなかつたり、今日何をおかわりしたかなど、兄弟間で話している。給食はおいしく、栄養のことも考えてくれているので、とても有り難い。地場農産であれば、輸送の費用も削減できるし、地元の農業の応援のためにも、どんどん進めれば良いと思う。
- 食事とは、単に栄養を摂取するものではなく、生産者への感謝を捧げていただくものだと思っています。地場農産物を積極的に給食に取り入れることで、農家の方との距離も縮まり、将来、農業に従事する子どもたちを増やすことにもつながると思います。食料自給率が低下の一途を辿る昨今、農家の担い手を増やすことは急務と考えます。このような厚木市のすばらしい取組を掲載することは、とても良いことであると考えます。

## 2面 あつぎSDGsフェスティバル

- 興味があったので面白かった。
- 記事の内容が参考になったから。
- SDGsフェスティバルに親子で参加したくなった。
- SDGsやカーボンニュートラルについて、様々な取組をされているのは良いが、どのくらい効果があったのか、検証も必要だと思った。

## 2面 新型コロナワクチン接種のお知らせ

- 今後のワクチンについて知りたかったから。
- 最近、感染者が増えていて気になったから。
- コロナウイルスが5類に移行されてから、徐々に感染者数が増えているので、重症化しないためにも予防接種はした方が良いと思うから。
- 姉が知的障害者の施設に入所しており、施設での感染防止対策は本当に徹底しています。私も姉と会う時に予防をしないといけないので、ワクチン接種に関心がありました。

## 3面 家庭に合う施設で子育てを

- 送迎ステーションの取組は、すごく良いと思います。
- 可能な限り、子育て世帯の負担が軽減してほしいと思ったから。もし、子どもに恵まれたら、地域サポートが充実しているところに住みたいと感じた。

## 3面 保育士・幼稚園教諭の就職支援

- 様々な支援策を手厚くし、労働力の確保ができればより環境が良くなり、安心して預けられる。

#### 4・5面 絵と音楽のちから

- とてもすてきなお話だと思った。
- 市民の皆さんが趣味を楽しまれるだけでなく、地域の子どもたちにもその楽しさを共有されているのがすてきだと思いました。
- ハープ奏者の方のキラキラした音楽に対する気持ちがすてきでした。子どもの頃の気持ちを持ち続け、今の子どもたちにも味あわせてあげようという姿勢もすてきでした。
- 記事の内容を含め、素敵な絵やイラスト、写真が掲載されているので読みやすい。デザイン事務所の取組に心惹かれました。音楽を聴く喜び、音楽を奏でる喜びを紹介する記事に心が休まります。

#### 6面 あつトピ！

- フルスペックで開催されたあつぎ鮎まつりは最高でした。来年はもっと大きな記事になっていることを期待します。
- あつぎ鮎まつり、お疲れさまでした。我が家の前の道路も大勢の人が花火大会の会場を目指して談笑しながら歩いて行きました。花火大会が滞りなく終了したのも職員の方々がそれぞれの持ち場において職務を全うされたお陰です。市民の一人として御礼申し上げます。
- ヘルメットインフルエンサーに期待します。小・中学生の憧れの存在として、交通ルールのお手本を示してください。
- ヘルメット装着のインフルエンサーを見て興味を持った。高校生を通勤のときに毎日見掛けますが、着けているのを見たのは一度だけです。ヘルメットを着けているのを見て思ったのは、珍しいなと思っただけでした。インフルエンサーとして活動されるなら、まず、学校全体で進めてほしい。インフルエンサーという言葉がインフルエンザと似ているので印象が悪い。流行の言葉ですが、意味を知らない方々は受け入れにくいと思います。

#### 7面 タウンガイド

- 近所の方が救急車を呼びました。呼んだ人は歩いて救急車に乗り込んで搬送されました。近隣の人なので、その家の人に具合を聞いたところ、「大したことはないんだけど、かかりつけの病院に行く足がないのでタクシー代わりに呼んだんだ」と平然と言っていました。救急車をタクシー代わりに利用しているのが現状です。

#### 8面 総合防災訓練

- 防災について考える機会になりました。
- 防災のことがかなり気になっていたのです。
- 毎年、地元自治会の防災訓練に参加しているため。
- 過去の大震災の教訓を生かして防災を見つめ直したい。
- 地震に備えて、防災を意識して行動したいと思います。
- 地震だけでなく、線状降水帯の被害のニュースを聞くことが多くなってきたので、明日は我が身の危機意識を高め、今一度防災用品を見直そうと思いました。
- 日頃の備えを見直す良い機会だと思います。ハザードマップや避難経路の再確認、勤務先・学校等の自宅以外で災害に遭遇したときの行動等を家族で話し合うことも大切です。我が家では備蓄はもちろん、あらゆることを想定して話し合っています。大阪在住時、阪神淡路大震災を経験して食料はもちろんのこと、皆が気付かない物も備蓄しています。備蓄品は3日分が目安とよく言われますが、最低でも1週間から10日分は必要です。

#### 8面 100年前の大震災とあつぎ

- 防災について考えるきっかけになりました。

- ちょうど100年前に甚大な被害をもたらした関東地震と、将来起こる関東地震に関心があるため。
- 普段は忘れてしまいがちですが、いつ起こるか分からない震災を改めて感じ、備えておかなければと再認識しました。
- 日々、自然界の恐ろしさを感じる。この夏の警報級の暑さ、そして各地で起こる災害、改めて各自が自覚を持たなくてはと思いました。
- 関東大震災関連の記事を各所で拝見するなか、「広報あつぎ」にも掲載されていて安心感がありました。時期にあったテーマ設定の大切さを痛感します。
- 関東大震災から100年の節目を迎え、メディアではそれぞれ特集を組んで災害への啓蒙・啓発を掲載しており、郷土博物館の展示に興味を持ったが、記事の少なさ、掲示物の貧弱さにがっかりした。

## 8面 自然歳時記

- 毎号、自然歳時記を楽しみにしているから。
- 名前からすると当然ですが、小鮎川に鮎がいるんですね。

## 興味を持てる記事がなかった

3人

## 広報あつぎ1406号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 今回の「広報あつぎ」について、意見・感想、その他、取り上げてほしい内容があればお聴せください。

- 読み応えがありました。
- 次号も期待しています。
- 役立つ情報が多かった。
- いつも楽しみにしています。
- 様々な特集があって良かったです。
- すてきな写真が多く、とても良かった。
- 子育て世代に気になる話題が多かった。
- 厚木市の少子高齢化対策の記載がない。
- 明るい話題の記事が増えてきて良かった。
- 4ページと5ページが見開きだが、間に1枚入っていて見にくい。
- 紙面全般に子どもから大人までが参考になる記事が多く、話題性に富んでいると感じました。
- 小さなことでも、地元的话题を今後もたくさん取り上げてほしいです。今月号も興味深く読みました。
- 紙面の構成やカラーリングもだいぶ落ち着いてきたと思います。一方、世の中で採用が増えてきたフラットデザインへの移行も考えてほしいです。シンプルで見やすいデザインだと思います。
- 子育て世代を狙った記事が大半という印象でした。限られた紙面ですし、印刷と紙代が税金から出ていることを考えると、市税を支払っている市民を狙った記事が一つくらいあっても良さそうに思います。厚木市に住んで税金を払っていると、どの年代になっても忘れ去られることがないと思える紙面を期待します。私はウェブ版で良いと思いますが。
- 表紙が新鮮だった。
- 今回の表紙は、多くの方の登場で少し驚きました。
- 1面が生き生きとした方々の写真でこちらも楽しくなる。
- 表紙がつまらないですね。効率よく紙面を使いましょう。
- 毎号思いますが、表紙の写真がすてきで印象的です。高齢カップルのダンス写真が特に良かった。
- 1面に市民の方が文化を楽しまれる写真が載っていて、生き生きとされている様子を見て、趣味は生活に欠かせないものだと思います。
- 給食の取組はいろいろ知りたいです。
- 学校給食には当然のこととして厚木産の食材が使われていると思ってましたが、そうでもなかったということでしょうか。
- 「学校給食に厚木産の米や野菜を」について、地場産業を活気づける良い取組だと思います。学校で厚木産の農作物を使用していると少しの時間で良いので説明し、話し合っはてはどうでしょうか。
- 給食の記事で、ずばらしい取組に感謝する一方、3面で共働きの家庭が15年前に比べて全国で250万世帯も増えたという記述を見て愕然としました。「子育てしやすいまちに」というテーマは、完全に親目線で子どもの気持ちを無視しているのではと思ってしまいました。未就学児の子ども、ましてや3歳未満の子どもを預けなければならない今の社会に疑問を投げかけることも必要ではないかと感じました。
- 青空おやつは全く知らなかったです。本当に優しさを増やす仕組みで感動しました。
- 青空おやつを「あつぎ愛テレビ」でも見ましたが、こういう取組もあるのだと思いました。
- 今後も厚木市の文化芸術の拡大に努力していきたいと思っています。



- 厚木市は大道芸やジャズナイトがあるので、芸術と音楽の街にしていけば良いと思った。
- 文化芸術の活動を拝見すると、自分も楽器の一つでも演奏できたらなとつくづく思います。
- 日本という国は、海外と比べると芸術や音楽などをあまり重要視していないと聞きますが、厚木市が芸術というテーマで特集してくれたのが良かったです。
- 文化芸術の記事について、プロの方やコンテストで上位入賞の方たちだけでなく、素人が気取らず音楽や絵画などを楽しめる芸術があっても良いのではないかと思います。そうすると下手でも笑顔で参加でき、演じる側と鑑賞側に分けなくて一体になれると思います。
- 鮎まつりの写真などをもっと見たいと思いました。
- 今更ですが、鮎まつりには市外からも人が来ていたと思います。彼らの反応などは記事になりませんか。
- 4年ぶりに通常開催された鮎まつりは、28万人が来場して多くの方が楽しまれたことを知り、厚木市民の1人として、とても誇りに思います。
- 鮎まつりが以前の開催月に戻ってうれしかったです。毎年行きたいと思いました。鮎まつりを筆頭に、厚木市の魅力を発信してもらえたらと思います。世の中、いろいろと変化する時代ですが、鮎まつりのような昔からあるイベントはいつまでも続けてほしいです。
- エコ窓について知らなかったので勉強になりました。
- 6面の「カーボンニュートラル」で紹介している「今月の挑戦 エコ窓にしよう」は、既存住宅に付けられるので、既存住宅の脱炭素の取組として多くの方に知ってほしいと思いました。紙面だけでは伝わりづらいので、広報番組でも紹介をお願いします。
- 7面に動物フェスティバルの公開講座の情報がありましたが、どんなイベントなのか知りたいです。
- 今年は地域の防災訓練に参加します。
- 体調が良ければ防災訓練に参加したいと思う。
- 地震だけでなく、線状降水帯で雨が降った時の防災準備についても詳しく知りたい。
- いつ起こるか分からない災害は、防災の日をきっかけに防災意識を高める特集記事があるのは良いことだと思います。
- 夏バテ気味のため、数回参加した自治会の防災訓練は今年は参加しないつもりでしたが、大きな震災から100年、いざという時のために参加しようと思いました。
- 時期的に防災関係の情報を取り上げていただけると有り難いです。特に、コロナウイルスが終息した後、防災訓練等も再開していると思うので、実施する際の注意点等も教えてもらえると有り難いです。
- 関東大震災から100年にあたり、これから発生すると思う大震災への啓蒙記事など、その時々タイムリーな記事がほしい。
- 「郷土博物館のミニ展示 100年前の大地震とあつぎ」との特集を企画してほしかった。地震から100年という節目の年で関心が高まっていること、また、当時を知っている方も限られていて、その方々から直接話を聞いた方の話を多くの人に周知するためにも必要だったのではないかとと思う。
- 小鮎川にも鮎がいるのは初めて知りました。産卵してまた子どもの鮎が川に戻ってきてくれると良いですね。
- 小鮎川を娘とよく見に行ったが、記事のような鮎を見たことがなかったので、もっと上流の方かもしれないと思った。一度見てみたいと思ったので、探してみたい。
- コロナワクチンの副作用が知りたい。
- 来年度のコロナワクチンやコロナウイルス対応について、また、学校の対応などを詳しく知りたいです。

- コロナウイルスは5類に移行されましたが、不安はたくさんありますので、引き続き情報提供をお願いしたいと思います。
- コロナウイルスやインフルエンザがととも流行っています。インフルエンザ予防接種の助成も始まると思いますが、冬に向けて、風邪対策や発熱時は各病院へ問い合わせ受診をと、改めて載せてほしいです。
- アユモに興味があります。
- 古墳について取り上げてほしい。
- 新庁舎建設工事の情報が知りたい。
- 道路混雑対策の特集を希望します。
- 健康や食事に関する情報提供を望む。
- 少子高齢化について取り上げてほしい。
- キャッシュレスについて取り上げてほしい。
- カルチャー教室の詳しい紹介をしてほしい。
- 公民館祭りの内容を紹介してほしいと思います。
- 個人的には子育て世代に気になる記事の掲載を期待しています。
- 子どもと大人で、通って良い自転車道が違うため、実際の道路を例に挙げ、何が正しいか示してほしい。例えば、本厚木駅から宮ヶ瀬湖に行くまでの道等がある。
- 全市民対象の経済支援策がほしいです。



# 広報あつぎ1406号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 視聴した「市広報番組」について、感想、意見をお聴かせください。

あつぎ愛テレビ9月第1回(9月1日から9月15日まで)

- いつも元気をありがとうございます。
- 厚木市の取組が分かりやすく見やすいです。
- この番組を通して、市内の様々な話題を知ることが多いです。今後もたくさん話題を取り上げてほしいです。
- 青空おやつのはつぎの活動は、とても良いと思いました。
- 青空おやつはとても気持ちの良い取組だと感心させられました。
- お子さんが絵を描いておやつをもらえる取組は良いなと思いました。
- 青空おやつのはつぎの活動は、コロナ禍が終わって、これから盛んになっていくと良いですね。
- 青空おやつのはつぎの地道な活動を知り、子どもたちを周り皆で育てるという精神を持ちたいと思いました。
- 子どもが描いた絵が誰かの手に渡り、その善意のお金で新しくおやつを買える仕組みは面白いと思う。
- 外で絵を描くこと自体が特別感があるし、自由に描いて良いというのはとても良いと感じました。こういった草の根活動はぜひ長く続いてほしいです。自分の子どもが小さい時に、こんなすてきな活動があったらなと思ってしまいました。応援しています。
- 青空おやつは、子どもは宝大切に育てることが子どもの未来につながると思える番組だと感じました。また、市の助成金制度の一つに子どもの保育などに必要な支援があることは良いことだと思います。
- アユモのことをもっと知りたい。
- あつぎSDGsフェスティバルの動画を放映してほしいと思います。
- SDGsフェスティバルが流行を追っただけの内容になっていた。もっと、日常生活にまで掘り下げてもらいたい。
- SDGsについて、アユモに興味を持ちました。数ヶ月前にスマートフォンにしたばかりなので、登録してみたいと思います。
- SDGsをよく耳にしますが、なかなかそれに関係しているのか分かりにくいところが多いので、イベント等で周知向上ができれば良いなと思います。
- SDGsフェスティバルは、興味が湧くイベントで、大変意義があると思います。体験をすることでポイントも貰え、お得感があるので是非参加します。
- 保育士・幼稚園教諭のなり手不足が解消されると良いと思った。
- 保育士や幼稚園の先生が少しでも働きやすくなれば良いと思った。
- 保育士、幼稚園教諭の就職支援はとても良い取組だと思いました。
- 孫娘の来春からの新しい保育園探しの真っ最中で、参考にさせていただきました。
- 保育士・幼稚園教諭に限らず、人材不足の業界はたくさんあると思うので、その他の業界にも手厚く願っています。
- 良い保育士は本当に少ないと思うが、普通の人でも勤められるような内容になれば、誰でもできると思うので、設備等の改善が必要だと思う。
- 保育士・幼稚園教諭への助成情報は良いと思った。少子高齢化と言われているが、子育ても重要なので、是非環境を整えていただきたいです。

あつぎ愛テレビ8月第2回(8月15日から8月31日まで)

- 体験されている様子に臨場感があって良かったです。
- 地震や強風の体験ができる施設があることを知り、是非体験したいと思った。
- 防災センターの9月10日のイベントや普段の体験をしに友人と行こうと思いました。
- 防災訓練に毎回参加しているが、厚木市は相模川に隣接しているので今後も多くの市民が参加されることを願いたい。
- 神奈川県総合防災センターの紹介を見ました。昔、一度見学に行きました。しかし、定期的に経験して肌感覚を維持することが大事ですね。
- 「大規模な災害に備えて」を関心深く視聴した。神奈川県総合防災センターという、災害を体験できる施設が厚木市にあることを初めて知った。せっかくなので、周知に力を入れるべきと思う。また、番組で行き方の案内がなかったので、これも案内した方が良かったのではないかな。
- 自然災害への備えとして、市民一人一人が体験できる神奈川県総合防災センターには是非行ってみたいと思いました。また、あつぎ国際大道芸は、毎年楽しみにしているイベントです。
- 防災センターの紹介を見て、昔体験したことを思い出しました。日々の防災意識を高めるためにも、久しぶりにまた行きたいと思いました。また、粗大ごみもネットから予約できて、便利になったと思います。
- 粗大ごみの出し方は大事な情報だと思います。
- 粗大ごみの申込みの入力の仕方を案内していて助かる。
- 粗大ごみの出し方について、動画で視聴することができて分かりやすかったです。